

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」 純真短期大学 実施報告書



実施主体 こども学科人間関係研究コース学生

実施内容 平成25年10月26・27日の学園祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

- ・学園祭にて教室展示の為、調べ学習をし、ポスターを準備した。
- ・学生それぞれがオレンジリボン活動、児童虐待についての理解を深めた。
- ・オレンジリボンを配布する為、事前にオレンジリボン、台紙を作成した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・教室展示にてポスターを掲示した。ポスターの内容は、「児童虐待における児童相談所の役割」「虐待としつけの違い」「オレンジリボン活動とは」「虐待の事例研究」「児童虐待に関する新聞の切り抜き」などであった。
- ・学園祭来場者、教室展示来訪者に、オレンジリボンとパンフレットの配布を行った。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

- ・保育を学ぶ者として、運動に参加できたことは、とても勉強になった。
- ・もっと沢山のひとに知ってもらいたい。
- ・自分たちが作ったオレンジリボンを受け取ってもらえるのは、とても嬉しかった。
- ・(展示ポスターを作る為に)新聞記事を集めていて、月に必ず2～3件の児童虐待の事件があり、ビックリした。
- ・運動に向けて、調べていくなかで、自分自身とても勉強になった。
- ・虐待を受けて辛い思いをしているこども達が減って欲しい。
- ・これから子育てをする自分たちと同じ年代の若者に、虐待の知識を持ってもらうことも、私たちが地道にできることであることが分かった。

